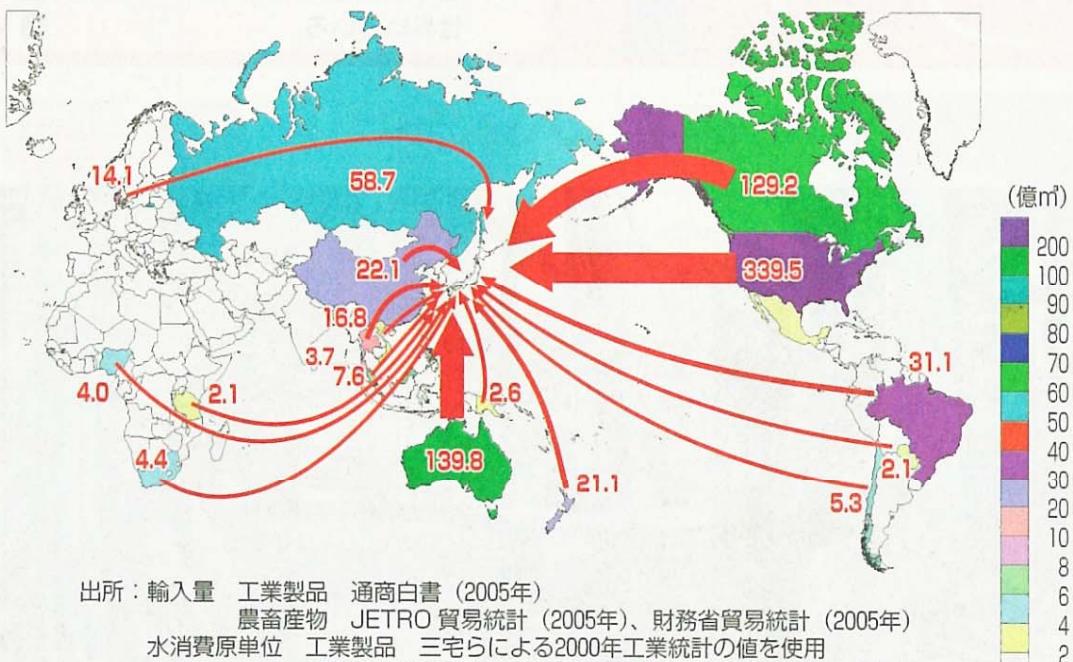


## 2005年バーチャルウォーター輸入量 (単位: 億m³ / 年)



出所: 輸入量 工業製品 通商白書 (2005年)

農畜産物 JETRO 貿易統計 (2005年)、財務省貿易統計 (2005年)

水消費原単位 工業製品 三宅らによる2000年工業統計の値を使用

農産物 佐藤による2000年の日本の単位収量からの値を使用

丸太 木材需給表等より算定した値を使用

世の中には不思議で分かりづら  
いことがたくさんあります。自然、  
科学、歴史など、詳しい先生に解き  
あ明かしてもらいましょう。

## 知りたい好奇心



©原ゆたか/ボカラ社

# 水と食料密接な関係から考える

私たちには毎日たくさんのおいしい食べ物を食べていますが、それを作るために水は欠かせません。世界中でかんがいのために大量の水が使われていて、それは地球上で使われている水の70%ほども生産に直結していますので、水の少ない地域では水をめぐつて戦争が起きるかもしれません。いと言っているのはそのためです。

しかし、それは「水の少ない国」のことです。日本とは無関係だと思っている人が多いかもしれません。けれど、「そんなことはないのですよ」ということを教えてくれる研究結果があります。

### 自給率は40%程度

図は環境省のホームページに掲載されている記事から引用したもので、バーチャルウォーターについて示したもの

### 水不足になつたら

本は40%程度でしかありません。そこで、輸入されている食物一つ一つについてどれほどどの量の水を使って作られたのかを計算し、日本に輸入されているその食物量を掛けることで、輸入した食物を作るためにはどのくらいの水が使われていたのかを計算しました。これは実際に日本に輸入された水の量ということではなく、計算によって求められたものなので「バーチャルウォーター(仮想水)」と呼ばれています。

この図から、日本は世界中からバーチャルウォーターを輸入していることがわかります。その量については、くつかの値が示されていますが、この図を作った時点での計算では、年間800億ドントなり、それは日本国内で1年間に使われる水の量とほぼ同じという結果になります。ただし、それは日本国内で1年間に使われる水の量とほぼ同じという結果になります。

環境省ホームページ ([http://www.env.go.jp/water/virtual\\_water/](http://www.env.go.jp/water/virtual_water/)) を基に作成。このページにはバーチャルウォーターの量の計算機も掲載されています。

この図から、日本は世界中からバーチャルウォーターを輸入していることがわかります。その量については、くつかの値が示されていますが、これについては、世界の水を大事にしていることになりますね。

(山梨大学総合研究部国際流域環境研究センター教授 風間ふたば)